

CERADES News

セラデス ニュース

vol. **25**
 Sep. 2023

全学FD/SD研修会実施報告 ～アクティブ・ラーニングの実践事例～

教育支援研究開発センターは、本学の教育の質に関する取り組みの一環として、全学的な FD/SD を推進するための研修会・ワークショップを開催しています。本号では、「アクティブ・ラーニング」をテーマとした令和5年度第1回全学 FD/SD 研修会についてご報告いたします。

授業にて使用しているオンラインツールを紹介、参加者に実際に使ってもらいながら、アクティブ・ラーニングの授業事例について共有されました。

その他、令和5年度の新任教員研修会や、学習成果実感調査の大きな変更点について、教育支援研究開発センター所属の各コモンズやF工房での授業連携についてもご紹介します。

8つの資質・能力 動画公開中！

学修者本位の教育の実現に向けての取り組み「DPに基づく『8つの資質・能力』説明動画」をPOSTのキャビネットにて公開中です。

POST > 教員・事務職員用キャビネット > 10_カリキュラムマップ・アセスメントプラン > 01_8つの資質・能力

アクティブ・ラーニングを活用した授業事例集 公開中！

本学のアクティブ・ラーニングを活用した授業をご紹介する事例集をPOSTのキャビネットにて公開中です。

POST > 教員用キャビネット > 857_教育支援研究開発センター > 01_授業支援 > 授業事例集

Contents

- p2** <FD/SD活動の推進>

 - ・令和5年度第1回全学FD/SD研修会「アクティブ・ラーニングーオンラインツールを活用した授業事例ー」開催
- p3** ・令和5年度新任教員研修会 開催

 - ・学習成果実感調査が変わりました！
- p4** <教育支援研究開発センターの取り組み>

 - ・コモンズやF工房の授業連携について

令和5年度第1回全学FD/SD研修会 開催

アクティブ・ラーニング ーオンラインツールを活用した授業事例ー

講師：平井 重行 先生 (情報理工学部 教授)
伊藤 慎一郎 先生 (情報理工学部 准教授)
三田 貴 先生 (国際関係学部 教授)

京都産業大学
令和5年度第1回全学FD/SD研修会

アクティブ・ラーニング オンラインツールを 活用した授業事例

講師
講演① 情報理工学部 平井 重行 教授 伊藤 慎一郎 准教授
講演② 国際関係学部 三田 貴 教授

本学教員を講師とし、アクティブ・ラーニング授業について、授業内で使用しているオンラインツールについて、授業での有用性、課題と解決方法、学生の反応などを紹介いたします。本学内で実践されているアクティブ・ラーニングに関する経験知を専門分野や立場を越えて共有、それを通じて教育改善、学生の意欲的な学びや主体的な活動を支援することを目的に開催します。

実施日時 5月31日(水) 13:00~15:00

実施方法 対面×オンライン (Teams) のハイブリッド形式
場所: S301教室 (サギタリウス館3階)

申込方法 事前に申込フォームよりお申し込みください
期限: 5月24日(水) 締切

備考 ノートPCをご持参ください

問い合わせ 教育支援研究開発センター (4号館4階) 075-705-1725 kyoku-shian-center@star.kyoto-su.ac.jp

5月31日(水)、令和5年度第1回全学FD/SD研修会を対面とオンラインでのハイブリッドで開催し、78名が参加しました。また、今回は第2回新任教員研修会も兼ねており、新任教員12名も参加しました。

本学内で実践されている「オンラインツールを活用したアクティブ・ラーニング」に関する経験知を専門分野や立場を越えて共有、それを通じて教育改善、学生の意欲的な学びや主体的な活動を支援することを目的として開催しました。

当日は本学の授業2科目をピックアップしました。それぞれの科目の担当教員である情報理工学部の平井 重行 教授・伊藤 慎一郎 准教授、国際関係学部の三田 貴 教授からご紹介いただきました。

研修会では、黒坂 光 学長からの開会挨拶ののち、各先生方からアクティブ・ラーニング授業について、授業内で使用しているオンラインツールを、参加者と実際に試しながら説明いただきました。

主にオンラインホワイトボードツールをどのように授業で使用しているかや、付箋をつかった作業を、後からでも見返すことができる等のオンラインであるがゆえの有用性、学生の反応、Teams機能の活用事例等を共有いただき、今後の授業方法の検討に役立つ研修会となりました。



参加した 教職員の声

- ・問題意識を持ちつつも何から始めればいいのか分からず先延ばしにしていた課題に対して、答えをいただけたと思います。
- ・学生にとっても社会人になってからも汎用性可能なソフトを学部の中に使いこなすことができるのは本当に大きいと思います。
- ・学生のICTに対する適用度がかかなり柔軟になってきている印象を持ちました。そのため、教員・職員が新しい環境・仕組みに対する苦手意識などを乗り越えていくためにもこのような研修は重要であると思いました。

令和5年度新任教員研修会 開催

4月26日（水）、教育支援研究開発センター主催「令和5年度 第1回新任教員研修会」を開催し、新任教員11名を含む本学教職員24名が参加しました。

今回の研修会では、本学の実施している「教員－学生間の授業に関する対話」をテーマとしました。

当日は、白鳥 秀卓 教育支援研究開発センター副センター長から本学の教育の質保証に向けた取り組みについての説明がありました。その後、グループに分かれ、「対話」の方法や学生の反応について、運営委員からのアドバイスや、新任教員の質問や悩み等についての活発な意見交換が行われました。

意見交換では、学生へのフィードバックの有効性やオンラインツールを使っでの対話、回答率の向上等、さまざまな話題があがりました。

参加した新任教員からは、「学生の様子や時代の変化に合わせて、よりよい対話の形を模索していく必要性を感じた」や「学生からのフィードバックをより詳細に分析してきめ細やかな対応ができるよう心がけたいと思った」等のコメントが寄せられました。



学習成果実感調査が変わりました！

各学期末に実施している「学習成果実感調査」が、大きく変わりました！

令和4年度より新しい調査システムを試験的に導入し、学生が回答する際の利便性の向上等を図りました。

令和5年度からは、本調査の目的を「授業の到達目標の達成度実感」をはかるものに明確化し、これに伴い、原則全科目実施への拡大、調査設問や実施期間の全学的な見直し等を行いました。

また、学生が、システムから集計結果を確認できるようにし、どの程度学べたと感じているのかを振り返りやすくしました。

教員の調査システムについても、結果の経年比較やクロス集計、結果を確認しながらメモを残すことができる機能を実装させ、より次の授業改善等に役立てられるようにしました。

『学習成果実感調査』調査目的

学 生	自身の学習の到達状況を俯瞰的に振り返り学習にのぞむ姿勢の向上につなげる。
授業科目 担当教員	学部・学科ディプロマ・ポリシーに基づいて設定された各授業科目における授業の目標の達成度実感を学生の自己申告により確認する。
学部長等	各授業科目が構成するカリキュラムが適切に展開されているかを検証する参考指標の一つとする。



コモンズやF工房の授業連携について

ラーニングコモンズやF工房では、授業連携を行っています！ぜひご活用ください。

ラーニングコモンズ

学生の主体的な学びを支援する目的で、ミニ講座を実施しています。個別の学生にも実施していますが、ゼミや授業でも活用いただけます。

なお、令和5年度から、ホワイトボード機能やPDFに書き込める透明ボード機能等を備えた65インチの大型モニターを導入しました（貸出可）。ディスカッションや共有、効果的なプレゼン等が可能になり、さらなる学習理解の促進が期待できます。授業教室として、ラーニングコモンズのスペース利用も可能です（学期中3回まで）。

実施内容 ※令和4年度は延べ26回実施

①レポートの書き方

レポート作成の基本（レポートの構成、テーマ設定、引用や参考文献）を説明します。

②プレゼンテーション資料の作り方

プレゼン発表の方法や資料の作り方のポイントを学びます。

③要約の方法

文章を要約しながら、そのコツを学んでいきます。



F工房

F工房では、学生の主体的な学びをサポートするために、「ファシリテーション」を取り入れた授業運営手法について教員と一緒に考え、一緒につくりあげていくことができます。例えば、学生同士のアイスブレイクやチームビルディングの促進、合意形成のための対話の仕方等、さまざまな場面を想定してご相談を受け付けています。授業の目的や達成目標、先生の授業への思いなどをお聞きしながら、学生自身が学びを自分ごととして捉え、話

し合い学び合う場のデザインや授業運営について一緒に考え、アイデアをご提案いたします。

F工房の専門スタッフだけでなく、専門的な研修を受けた学生ファシリテータの派遣も可能です。同じ学生がファシリテータとして加わることで、学生同士の新たな視点の発見が期待できます。ぜひ一度F工房にご相談ください！（令和4年度は延べ8回実施）

グローバルコモンズ

グローバルコモンズでは、語学学習や異文化理解等のグローバルコモンズのコンセプトとマッチした内容の場合は、授業やイベントにてスペース利用が可能です。

また、簡単な本から始めて、少しずつ難しい本を読み進める多読本、各種言語を学ぶ参考書、食文化を学ぶ各国料理のレシピ本などバラエティ豊かな資料が揃っています。書架に配置されている資料は館内で自由に閲覧できるほか、一部の書籍については貸出も行っています。

さらに、グローバルコモンズでは、様々なイベントを開催しており、教職員も参加可能なものもあります。（令和4年度は延べ2,533名が参加）

